

1 教材・教具名
再生封筒作りの補助具

2 教科・領域
生活単元学習

3 指導目標、指導内容、指導方法
(指導目標)

- ・腕を伸ばしてから力を入れて補助具を下に押すことで、封筒に紙を貼ることができる。
- ・自分が行う作業の内容を理解し、進んで行うことができる。

(指導内容)

- ・教師が上板にクリップで古封筒を固定し、下板にのり付けした紙を置いた状態の補助具を生徒の手が届く位置に置き、生徒が上板を押さえ、紙を貼る。
- ・補助具から手を離し、封筒に紙が貼られていることを見て確認する。

(指導方法)

- ・作業に慣れるまでは、生徒が手を置く位置を教師が指さしなどで示し、「ここまで手を伸ばしてください。」などと言葉掛けをする。
- ・完成した再生封筒を生徒の目の前に提示し、生徒が作業の成果を確認できるようにする。

4 工夫点、おすすめポイント

- ・生徒が自力で押していることを実感できるように、ゴムひもを付けて抵抗感を得られるようにした。
- ・生徒が教材の上に手を置きやすいように、ゴムひもの間隔を広くした。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、生徒の手が触れる部分を消毒できるように、透明なビニールテープでラミネートした。
- ・紙を貼った後に手を放すと、ゴムの反動で補助具が開き、紙が貼られた封筒が見えるようにした。

5 作成について

①材料や大きさ

- ・段ボール箱を開いたもの
- ・本立て2つ
- ・ゴムひも2本(約25cm)
- ・厚紙2枚(横約2cm、縦約28cm、厚さ約2mmの長方形)
- ・布ガムテープ
- ・透明なビニールテープ
(完成後の大きさは横45cm、奥行き34cm、高さ30cm)

②使用道具

- ・カッター ・きり

③作り方

- ・段ボールを折り目に沿って曲げ、全体がくの字になるように余分な部分を切り落とし、ガムテープで固定する。
- ・段ボールの両端に本立ての曲がった部分と折り目とを合わせて、ガムテープで固定する。
- ・本立てに合わせて上板に穴を2か所開け、穴にゴムひもを通し、本立てと結ぶ。
- ・封筒を挟んで固定できるように、上板の内側の両端に厚紙2枚を貼る。
- ・上板の外側をビニールテープでラミネートする。

